

新入生へのメッセージ

今年度より学長に就任しました坂井貴文です。学長として新入生の皆さんにメッセージを伝えたいと思います。

埼玉大学へのご入学おめでとうございます。新入生の皆さんは、本学へ入学して、新しい生活に向かう希望と不安の中にあることと思います。我々教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎すると同時に、これからの皆さんの学修をサポートするべく気を引き締めているところです。

本来でしたら、入学式において、大学で学ぶことの意義についてお話したかったのですが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、今年度の入学式を中止せざるを得ませんでした。入学式は、新入生の皆さんにとって、大学生活の入り口であるとともに、新たな決意の時でもあります。しかし、国における感染症対策方針や感染の拡大状況などを慎重に検討した結果、新入生と大学内外の方々の健康と安全を守るため、入学式を中止することといたしました。このような重要な式典を中止することは、新入生の皆さん及び保護者の方々のお気持ちを想うと極めて残念ですが、パンデミックを終熄させるための積極的な対応とご理解賜りますようお願い申し上げます。

また、授業については、上記の理由から2週間延期し、4月27日からの開始といたしました。講義形式の授業は全て遠隔授業により行うこととし、現在準備を進めています。授業開始前に実施するガイダンスも動画配信等により行うことにいたします。これらの視聴のため、インターネット環境の準備をお願いいたします。併せて、新入生に対して行う健康診断、テスト、種々の説明イベント等も延期または中止するなど変則的になります。詳細は随時ホームページで発表しますので、必ずご覧ください。

新入生の皆さんは、新しい環境で、大学の仕組みも分からずに戸惑われ不安をもたれていると思います。皆さんがスムーズに大学生活を始められるよう、本学の教員が、新入生に対して直接電話等で連絡をいたします。何か不安なことや分からないことがありましたら、何でも相談してください。また、Q&Aが掲載されているチャットボットも用意しますので、そちらも利用してください。

加えて皆さんにお願いです。新型コロナウイルス感染症の特徴として、感染してもほとんど症状が出ない、不顕性感染者が多数いることが知られています。特に強調したいのは、この不顕性感染は健康な若者に多く、症状がほとんど出ないために、安易に行動して、感染拡大を引き起こす原因のひとつとなっていることです。現在は爆発的感染拡大を避けられるかどうかの瀬戸際と位置付けられており、もし、感染爆発が起こると医療崩壊を招き、通常ならば助かる多くの方々の命が失われることとなります。また、最近、感染した若者が重篤な

状態になる例も数多く報告されています。新入生の皆さんはこれらのことを深刻に受け止めて、大人数が集まる場には行かない、不要不急の移動はしないなど、「感染を避ける」、「感染を広げない」ことを第一に考えて、節度ある行動をとるよう強く要請します。

さて、これから新入生の皆さんは、大学での学びは高校までの学習と異なり主体性が要求されることに驚くことと思います。高校までは学習指導要領により定められた教科等の目標や内容に沿って学ぶのに対して、大学での学修は、自ら問題を発見し、創造性を駆使して問題を解決して、更に真理を追求すること、またその態度や能力を身に付けることを目標として展開されます。このことは自己を鍛錬して自らの生き方を考えることにも繋がります。しかし、そこに至るまでには、先ず、しっかりと今までに蓄積された知識や知恵を学ぶことが必要です。私の座右の銘のひとつで、研究室の学生によく話していた言葉があります。論語の「学而不思則罔、思而不学則殆」という一節です。「学びて思わざれば則ち罔し(くらし)、思いて学ばざれば則ち殆し(あやうし)」とは学ぶことと自ら考えることの大事さを表しています。その両方が揃わないと、自分の知識を活かすことができず、自らの頑迷な考えに落ち込んでしまうということです。学ぶためには心を開いて謙虚になること、また、考えるためには孤独な時間を過ごすことも必要です。大学で学問を始めるにあたって、学びつつ考える、考えつつ学ぶことの重要性を皆さんの心に留めておいて欲しいと思います。なお、本学では、埼大生に読んでほしい教養図書として、教員が勧める本の一覧をホームページに掲載しています。授業開始の延期に伴って、今、自由になる時間を使い、各自の興味に従ってこれらの本を読み考えることを勧めます。

皆さんは、これから始まる生活で多くの経験をされるとと思います。その一瞬一瞬が皆さんの生きる力を育てるとともに人生の彩りになります。どうぞ、楽しく、そして多くのものを身に付ける学生時代を過ごされることを心より希望いたします。

猖獗(しょうけつ)を極めている新型コロナウイルス感染症も、かつて流行した感染症のように、必ずや人間の英知と協力によって押さえ込まれます。しばらくは不便な日々が続くと思いますが、どうぞ希望を失わずに大学生活をスタートさせてください。我々教職員は全力で皆さんをサポートいたします。

令和2年4月3日

坂井貴文